

大会開催にあたって

今年度の研究大会は、高千穂大学に会場をお借りして開催します。23名の方が個人研究発表を行います。シンポジウムでは、「仮象の現象学」を取り上げます。ハイデガー・ニーチェをはじめ哲学史に造詣の深い村井則夫氏、ベンヤミンに関する研究で著名な森田團氏、意欲的なフッサール研究を上梓した佐藤駿氏をお招きし、ご提題いただきます。北欧現象学会からはFredrik Svenaeus氏が参加し、特別講演を行います。二日目の午後には、二つの公募ワークショップと、男女共同参画・若手研究者支援ワークショップが開催されます。いずれも意欲的かつ魅力的な企画ですので、会場選択に迷うかもしれません。例年にも増して大変充実したプログラムとなっております。多くの会員諸氏のご参加をお待ちしております。ご関心をお持ちの非会員の方々にも、ぜひ情報提供をお願い致します。

企画実行委員長

プログラム

11月26日(土)

09:15-12:30 個人研究発表 (発表30分・質疑応答15分)

第1会場 (1201教室) 司会: 村田委員・工藤委員

09:15 大野武士 (中央大学)

フッサール現象学における「多様体」概念の役割について

10:05 下西風澄 (東京大学)

フッサールの表象概念の多様性と機能

——ドレイファスの解釈と現象学の自然化

10:55 松井隆明 (東京大学)

超越論的観念論を動機づける

11:45 柳川耕平 (立命館大学)

『ベルナウ草稿』における二重の予持

第2会場 (1202教室) 司会: 井上委員・氣多委員

09:15 金成祐人 (慶應義塾大学)

「世界とは何か」を問う三つの道

——形而上学期のハイデガーの世界概念

10:05 丸山文隆 (東京大学)

ハイデッガー『存在と時間』における「地平的図式」について

10:55 味村考祐 (大谷大学)

ガダマーの哲学的解釈学において伝統の習得とは何を意味するのか

11:45 古川裕朗 (広島修道大学)

カントの趣味論における「論争」する権利

——実感的理解に向けて

第3会場 (1203教室) 司会: 村上・加國委員

10:05 鈴木康則 (桑沢デザイン専門学校)

初期デリダにおける自己性の問題

10:55 窪田徹 (関西大学)

実在に於ける人間の知覚の意味

——ベルクソンの『物質と記憶』に対する人間論的アプローチ

11:45 横山陸 (一橋大学)

マックス・シェーラーにおける「感情の哲学」

12:30-13:50 昼休み・第1回委員会

(1103教室)

13:50-14:50 【特別講演】(1102教室)

"Edith Stein's Phenomenology of Empathy and Emotion"

Fredrik Svenaeus 氏 (Södertöm University, Sweden)

15:00-18:00 【シンポジウム】(1102教室)

「仮象の現象学」

提題者: 村井則夫氏 (明星大学)

森田團氏 (西南学院大学)

佐藤駿氏 (東北大学)

司会: 古東哲明氏 (広島大学)

18:30-20:30 懇親会

会場: セントラルスクエア4階

会費: 学生・院生 (PDを含む): 2,500円

常勤職: 4,500円

11月27日(日)

10:00-12:25 個人研究発表 (発表30分・質疑応答15分)

第1会場 (1201教室) 司会: 榊原委員・三村委員

10:00 林遼平 (神戸大学)

発生的現象学における「ヒュレー」概念と「先所与性」の位置づけ

10:50 山口弘多郎 (大阪大学)

フッサールにおける接頭辞「原-(Ur-)」の射程

——「原創設」概念を手掛かりに

11:40 田中俊 (京都大学)

「絶対的現実」と「推定的現実」

第2会場 (1202教室) 司会: 石原委員・安部委員

10:00 峯尾幸之介 (早稲田大学)

M・ガイガーと哲学的人間学

10:50 小松伸二 (立正大学)

視覚代行器による知覚経験について

11:40 三松幸雄 (明治大学)

脱構築とシステム理論

第3会場 (1203教室) 司会: 和田委員・浜渦委員

10:00 平野徹之 (京都大学)

Die aristotelische Kritik an der Idee des Guten und Heideggers Aristoteles-Interpretation

10:50 貫井隆 (京都大学)

On Heidegger's Temporality: Two Usages of "Temporalizing Itself" in Heidegger's *Being and Time*

11:40 Jan Straßheim (早稲田大学)

The "aesthetics of relevance" in art and everyday life

12:25-13:45 昼休み・第2回委員会

(1103教室)

13:45-14:15 総会 (1102教室)

14:25-15:10 個人研究発表 (発表 30 分・質疑応答 15 分)

第1会場 (1201 教室) 司会: 宮原委員

14:25 河野憲一 (東洋大学ほか)

現象学的社会学の立場からの前述定的明証性理論の展開

第2会場 (1202 教室) 司会: 野家委員

14:25 関口貴太 (法政大学)

〈あいだ〉の現象学の新展開

——シュタウディゲルの暴力批判を超えて

15:20-17:50 【公募ワークショップ】(1201 教室)

媒介論的描像を抜け出して多元的実在論へ

——ドレイファスとテイラーの現象学

オーガナイザ・司会: 村田純一(立正大学)

提題者: 荒畑靖宏 (慶應義塾大学)

井頭昌彦 (一橋大学)

植村玄輝 (岡山大学)

15:20-17:50 【公募ワークショップ】(1202 教室)

現象学的倫理学に何ができるか?

——応用倫理学への挑戦

オーガナイザ・提題者: 吉川孝 (高知県立大学)

提題者: 小手川正二郎 (國學院大学)

池田喬 (明治大学)

コメンテーター: 品川哲彦 (関西大学)

15:20-17:50 【男女共同・若研究者支援ワークショップ】(1203 教室)

作者は匿名の主観でありうるか?

オーガナイザ・司会: 中 真生 (神戸大学)

提題者: 河野哲也 (立教大学)

檜垣立哉 (大阪大学)

特定質問者: 稲原美苗 (神戸大学)

お知らせとお願い

1 会費納入

学会費 (年間 3,000 円) を同封の振込用紙にてご納入下さい。大会会場でも受け付けます。

2 出欠の連絡

研究大会および懇親会への参加の有無を、同封の返信用ハガキにご記入の上、11月12日(土)までに必ずお知らせください。

3 委員選挙のお知らせ

今年度は、委員の改選の年度となっております。投票用紙を11月12日(土)までに事務局にお送りいただくか、26日の午前中までに会場の投票箱に投票ください。

4 2015年度決算報告 (2015.4.1~2016.3.31)

【歳入】		【歳出】	
歳入項目	決算額	歳出項目	決算額
前年度繰越金	¥3,119,892	『年報』出版費	¥696,384
納入学会費	¥1,392,000	『年報』編集費	¥0
『年報』売上	¥49,600	『年報』送料	¥104,670
普通預金利子	¥141	通信費	¥77,411
計①	¥4,561,633	企画・実行費	¥0
【次年度繰越金】	¥3,116,830	事務局経費	¥76,544
		研究大会開催費	¥193,358
		研究大会講師謝礼	¥0
		国際学会年会費	¥10,000
		事務謝礼	¥260,000
		会員名簿作成費	¥0
		事務局移転費	¥26,436
計②	¥1,444,803		

第38回

研究大会

日時: 2016年11月26日(土)・27日(日)

会場: 高千穂大学

東京都杉並区大宮 2-19-1

大会参加費: 500 円

日本現象学会

事務局 〒175-8501
東京都豊島区西池袋 3-34-1
立教大学文学部教育学科
河野哲也研究室
TEL: 03-3985-3569
FAX: 03-3985-4790
E-mail: paj-office@pa-j.jp
郵便振替 00980-9-109153
HP: <http://pa-j.jp/>

【会員休憩室】1101 教室